

「内藤記念館再整備事業 外構工事及び新施設の名称」に関する意見一覧

延岡市教育委員会 文化課

No.	区分	分類	意見の概要	本市の考え方・対応
1	計画	外構	(西ノ丸に)過去に無かったものを雰囲気を出すために作るのも反対。	今回、市では過去に無かったものを雰囲気を出すためにつくるのではなく、元々この施設整備場所が延岡城の西ノ丸であったという史実を踏まえ、そのことを後世に伝える意味を込めて、延岡城下町や和を感じられる空間を形成する考えであり、その考えは適当であると考えています。また、市外・県外に対し延岡城西ノ丸を伝えるという意義も込めて整備内容を考えておりますので、ご理解をいただきたいと思います。
2			城下町延岡を感じるように、白壁や冠木門をつくられるとなっていますが、史実になかったものを史実風に作るということに反対。後世の市民に伝えるともあるが、史実になかったものを伝えることに強く疑問を感じる。	
3	建設	外部エレベーター	外部エレベーターの外観はもっと落ち着いたものにできないか。せっかく本館が落ち着いた雰囲気 で、周辺の景観に溶け込むよう工夫されているのに台無し。竹田市で開館した「竹田市歴史文化館・由学館」に屋外エレベーターがあるが、竹を使った落ち着いた雰囲気の外観で、本館や周囲の景観と調和が取れた素敵なデザインとなっている。	施設整備場所は延岡城の西ノ丸であったため、そのことを伝えるという考えのもと、外部エレベーターの外観を考えたところです。今回の整備で、この場所が延岡城内であったことを外観で表現し伝えなければ、永遠にその史実を広く発信できなくなるため、ご理解をいただきたいと思います。
4		和室棟	和室棟は高く蕎麦を誇り周囲を圧する建物ではなく、軒を抑えた和室のデザインに白壁はそぐわない。本館を含め周囲に溶け込むように配慮された設計に見受けられるので、外観の色は聚楽色の方が合っている。	内藤記念館が再整備される場所が、延岡城内の西ノ丸であり、また廃藩置県後も藩主の邸宅が置かれていたことを踏まえ、その史実を伝える意味も込めた外観を考えたところであります。今回の整備で、この場所がかつて延岡城内であったことを、外観で表現し伝えなければ永遠にその史実を広く発信できなくなるため、ご理解をいただきたいと思います。
5	名称	提案	記念館はメモリアルホールで、記念する意味で建設され、それらに関わる資料が展示される建物。コンセプトに広義に合致する言葉としてミュージアム(博物館)の名称を入れるべき。市外・県外の来訪者に対してのアピール度が違うし、近くの野口記念館と間違えやすい。博物館(ミュージアム)の名称は絶対に必要。	長年、市民に親しまれてきた「内藤記念館」という呼び方を残しつつ、内藤記念館が再整備される場所が延岡城西ノ丸であり、また廃藩置県後も藩主の邸宅が置かれていたことを踏まえ「延岡城・内藤記念館」という名称をご提案しましたが、「博物館」を入れた方が子供たちや、市外県外の人にも分かりやすいのではないかという御意見が多くありましたので、「延岡城・内藤記念博物館」という名称を検討したいと思います。
6			「博物館」の名称を入れていただけると良い。どんな場所か子供たちにも分かりやすいと思う。	
7			名称には「博物館」が入っているとPRIになると思う。子供たちも行ってみたいと思うだろうし、県外から来た人にも内容が伝わりやすくて良いと思う。	
8			「延岡内藤記念博物館」ではどうでしょうか。	
9			「内藤記念博物館」という名称が親しみやすくて良いと思う。	
10			「内藤記念博物館」。内藤の名前を残しつつ博物館としての展示も楽しみたいと思う。	
11			延岡藩だった内藤家に関わりがある場所に建つ建物故に「内藤」と「博物館」の文字を入れていただきたい。飾り物の建物ではなく、市民に親しまれる場所として発展していくと良いと思う。	
12			「内藤記念館(歴史)博物館」として頂けたら、外に向かっても説明しやすく、展示の幅が広がる。記念館を文化の発信地として活用できるのではないかと思います。美術工芸品等々、市民を大いに啓発していただきたい。	
13			実家にあった古文書を内藤記念館に保存していただいた。また、実父が内藤記念館建設に携わっていたので懐かしいものがある。名称に「内藤記念館」か、それを含む事を希望します。	

「内藤記念館再整備事業 外構工事及び新施設の名称」に関する意見一覧

No.	区分	分類	意見の概要	本市の考え方・対応
14	名称	提案	博物館という言葉がなければ、何の建物か市外の人には分からない。見学する小学生等に博物館に行ったことが分かるようにすべき。「内藤記念館」の名称を残すことは賛成だが、「延岡城」とつくことに強く違和感を感じる。延岡城以外の展示や延岡市の通史的な展示がされる予定で、美術館的な展示も行われると聞いていますので、名称に「延岡城」はそぐわないと思う。	今回名称に、「延岡城」を入れたのは、内藤記念館が再整備される場所が、元々延岡城西ノ丸であり、また廃藩置県後も藩主の邸宅が置かれていたという史実を踏まえてのものです。御意見のありましたように続日本100名城に選定されて以降、延岡城を見に来られる観光客が増えていることも事実であり、その延岡城の一角であったことをアピールし、来館につなげるためにも延岡城を入れた「延岡城・内藤記念博物館」という名称を検討したいと思います。
15			「延岡城・内藤歴史資料館」を推奨する。理由は延岡城が、続日本100名城に選定されたことから、延岡市民も延岡城について感心を持ちはじめ、また、全国から延岡城を目指し観光客が県外から多く訪れている。この延岡城・延岡城下町の歴史を知る事が出来る施設が新施設です。今迄の内藤記念館は、結婚式場や市民の活動拠点の意味合いが大きかったが、これからは延岡城・延岡城下町の歴史を知る施設との事からも「延岡城・内藤歴史資料館」の方が延岡市としても又、全国的にもふさわしい名称だと思う。	
16			珍しいもの、古い大切な物を見るたびに「内藤記念館行きやね」が我が家の合い言葉であった。それだけ愛着のある記念館なので、そのままの名前が良い。地名が必須なら「延岡内藤記念博物館」あたりが良い。土地や建物、能面等、延岡地方全ての人に役立てて欲しいと寄贈された内藤氏の意思と深く繋がっていると考えるので、「内藤記念館」という名前を継続させる必要があると考える。重ねて「延岡城」という名前が入れば、我が地域さらには、我が祖先まで否定されてしまう気がする。	
17			今回整備されるのは博物館であり、延岡城に関するものだけを取り上げるものではないため、「～内藤記念館～ 延岡市博物館」を提案。	
18			何故、博物館という名称を入れないのか。博物館には発掘されたものや若山牧水資料など幅広く展示される。延岡城に関する物だけではない。過度に城下町を意識する必要はない。「内藤記念延岡市博物館」または「延岡市博物館・内藤記念館」を提案する。	
19			「エン ミュージアム」	
20	その他	その他	庭で音楽ミニコンサートを開いて頂きたい。	完成後は、様々なイベントなどが行えるよう検討していきたいと思いますので、ご意見を参考にさせていただきます。
21			内藤記念館敷地の南東隅が急傾斜に指定されているので、道路に標識等を設置し周知を図っていただきたい。	必要な場所に標識等を設置することは重要なことですので、今後検討して参ります。